



平成 21 年 3 月 17 日

各 位

上場会社名 アルプス電気株式会社
代表者名 代表取締役社長 片岡 政隆
(コード番号 6770 東証第1部)
問合せ先 財務部長 荒井 光夫
TEL (03)3726-1211(代表)

業績予想の修正、ならびに特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

平成 21 年 2 月 4 日に公表した、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）における通期の連結業績予想について以下の通り修正致します。また、当期末において特別損失の追加計上、および繰延税金資産の更なる取り崩しを行うこととしたため、併せてその内容をお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の連結業績予想

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 21 年 2 月 4 日発表)	540,000	△ 28,000	△ 27,000	△ 53,000
今回修正予想 (B)	536,000	△ 29,000	△ 26,000	△ 67,000
増減額 (B-A)	△ 4,000	△ 1,000	1,000	△ 14,000
増減率	-0.7%	-----	-----	-----
(ご参考) 前期(平成20年3月期)実績	692,656	19,876	13,123	4,418

2. 修正の理由

本日、音響製品事業を手掛けるアルパイン株式会社（東証一部）が公表した平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）における通期連結業績予想の修正を受け、売上高および営業利益を見直し、また当期末において、投資有価証券評価損や減損損失、構造改革費用などの特別損失の追加計上、ならびに繰延税金資産の取崩しを実施する見込みです。

以上のことから、平成 21 年 2 月 4 日に公表した連結業績予想における、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を、それぞれ修正致します。

3. 特別損失の計上について

(1) 投資有価証券評価損

当社が保有する投資有価証券のうち、時価または実質価額が著しく下落している銘柄について、当期末において 15 億円を評価損（特別損失）として追加計上する見込みです。

(2) 減損損失

市場環境の急激な悪化により、複数製品の固定資産帳簿額を回収可能価額まで減額し、当期末において112億円を減損損失（特別損失）として追加計上する見込みです。

(3) 構造改革費用

平成21年2月4日に公表した構造改革を実施していくにあたり、現段階で見込める費用として14億円を、特別費用（特別損失）として追加計上する見込みです。

4. 繰延税金資産の取り崩しについて

音響製品事業（アルパイン株式会社）において、通期の連結業績予想が下方修正されたことを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収が見込めない部分について取崩すこととし、当期末において、法人税等調整額（税金費用52億円）を追加計上する見込みです。

（ご参考）

1. 第4四半期の見通しにおける為替レートにつきましては、1米ドル=92.91円、1ユーロ=120.04円にて見積りを行っております。

2. セグメント別売上高および営業利益の内訳

＜通期予想＞

（単位：百万円、％）

売上高	電子部品	音響製品	物流・その他	連結計
前回発表予想（A） （平成21年2月4日発表）	290,000	196,000	54,000	540,000
今回修正予想（B）	290,000	191,000	55,000	536,000
増減額（B－A）	0	△5,000	1,000	△4,000
増減率	0.0%	△2.6%	1.9%	△0.7%

営業利益	電子部品	音響製品	物流・その他	連結計
前回発表予想（A） （平成21年2月4日発表）	△23,000	△9,000	4,000	△28,000
今回修正予想（B）	△21,500	△11,500	4,000	△29,000
増減額（B－A）	1,500	△2,500	0	△1,000
増減率	―――	―――	0.0%	―――

3. 有価証券評価損について

当社が保有する有価証券のうち、期末日における時価が取得価格の50%以上下落した場合は減損処理の対象とし、30%以上50%未満の場合は、時価の回復可能性等を判断した上で減損処理を実施しています。

以 上